

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

「目的」と「目標」

校庭の木々に目をやると、今の時期にしか見られない、透き通るような黄緑の若葉が目飛び込んできます。

先日は、参観日及びPTA総会にご出席いただき、ありがとうございました。本年度のPTA組織や活動計画が決定し、学校も本格始動です。

また、家庭訪問では職員が大変お世話になりました。

子どもたちは、それぞれの学年に徐々に慣れて、授業や諸活動に一生懸命取り組んでいます。

人が何かをやるうとするときは、「何のためにやるのか」ということと、そのために「何をどこまでやるのか」という二つのことを、意識しないにわかかわらず、自然と考えています。

前者を「目的」、後者を「目標」といいます。例えば、「体力を付けるため(目的)に、腕立て伏せが100回できる(目標)ようにする。」などです。

分かりやすいのは、「ルールや結果がはっきりしている目標ですが、その根本には「何のために」が必ずあります。

「自分は何のために勉強しているのか。」など、目的を考えることにより、自分のやっている行動に意味を見つけることができます。

今年、「なぜ?何のため?」を考える機会を増やし、「**目的を考えた行動**」がたくさんできるように努力しましょう。

《すっかり中学1年生になりました》

春休みの入学式練習の時には、「まだまだ、小学生だなあ」と思っていた新入生でしたが、入学式では、凛々しい制服姿で、堂々と決意を述べてくれました。

短い時間にすっかり中学生になっていました。

これからいろいろな学習を通して、中身も中学生になっていきましょう。

「学校は間違ってもいいところ」何にでも挑戦しましょう。



《キャリア教育の視点とは 1》

通信の1号で、「キャリア教育の視点を意識した教育活動」を実施することを書きました。

これは学校教育の課題として、学校教育が「社会人として自立した人を育てる」という目的をもつにもかかわらず、「学校の学習が社会生活につながっていない」という反省があるからです。

そこで、全ての教育活動を通して、次のようなことを理解させていきたいと考えています。

- 学校の学習と社会生活との関連の理解～何のために勉強するのか
 - 社会生活における自分の役割の理解～自分は社会の中で何をやらないといけないのか
 - 社会生活の中で役割を果たすことの意義の理解～自分の行動にはどんな価値があるのか
- ご家庭でも時々話題にしていただくとありがたいと思います。